

まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎

東京で記録的な7万6000トンと広報。ABTAは「ついにNOAに毒が回った。偏った情報を政府が流すのは、やめてほしい。築地の初セリの値は例年、特別だ。特に今年は、昨年の大震災で消沈した日本人を元気づけよう」との思いで高値

口 東京で記録的な7万6000トンと広報。ABTAは「ついにNOAに毒が回った。偏った情報を政府が流すのは、やめてほしい。築地の初セリの値は例年、特別だ。特に今年は、昨年の大震災で消沈した日本人を元気づけよう」との思いで高値

◆例外的価格故意に宣伝
ABTAは、漁獲規制をしっかりと守っているアメリカのマグロ漁業者が報われず、例外的な価格情報を故意に宣伝するクロマグロ不買運動により、経営維持が困難な状況に追い込まれつつある時に米国政府が、漁業者の足を引っ張るのはやめてほしいと言っている。持続的な資源の利用が感情的・不合理な保護運動で阻まれることのないよう、米国漁業者にエールを送りたい。

築地初セリに泣く米国漁業者

クロマグロ NOAの「誤情報」に緊急書簡

築地市場の今年の初セリで史上最高値(5649万円)を付けたクロマグロのニュースは、外国でも瞬く間に広く報道された。たった一本のマグロがこれほどの値がつくのは、特に外国人には信じ難いだろう。「マグロ神話」と言っている者もいる。だが、このニュースは、米国のマグロ

業界にとっては、単に驚いているわけにはいかなない切実な問題を引き起こしている。米国クロマグロ漁業協会

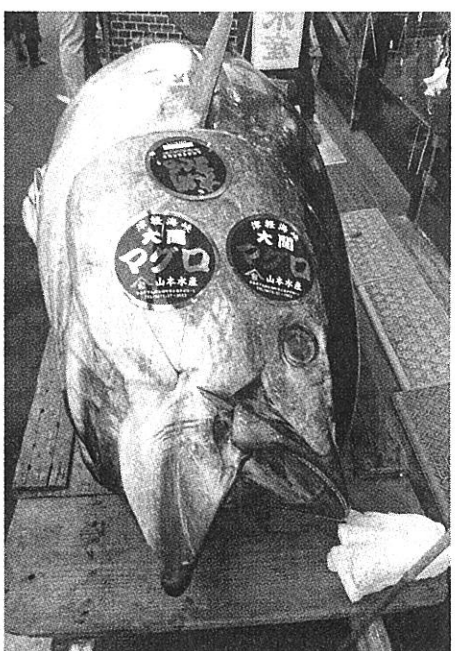
くびくしている由だ。今年、史上最高値のニュースについてたまりかねて1月6日、米国政府(NOAA・海洋大気庁)に、誤った情報を政府機関が流布しないよう要請する緊急書簡を送付した。



◆保護運動に初セリ結果利用◆

ABTAによれば、

買える。だから、漁業者は、高値が付くクロマグロを狙う。結果は、資源の絶滅だ」とテレビなどで周年、盛んに広報し、クロマグロ保護運動を行っている。その運動に、毎年築地の初セリの結果が利用されている。今年、NOAAがそのウエブで「警戒スシ！ マグロ漁業者の経営を圧迫し



史上最高値をつけて物議をかもしたクロマグロ(築地市場の初セリ)

(毎月1回掲載)